



F R B 形 荷 重 変 換 器

取 扱 説 明 書 4 5

当社の荷重変換器を御買い上げ頂きまして、誠に有り難うございます。ご使用前に必ず本書を御熟読頂き正しく御活用頂くよう御願い申し上げます。

● ケーブルの接続方法

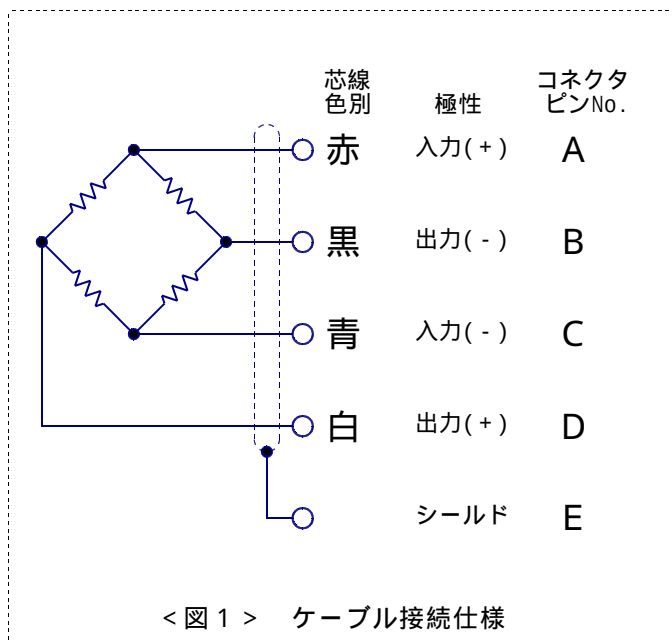
本器のケーブル接続仕様を<図1>に示します。

接続を間違えますと初期平衡が取れなかったり荷重を負荷した場合の出力電圧に誤差を生じますので御注意下さい。

● 最大許容印加電圧

最大許容印加電圧 (AC / DC)	1 5 V
推奨使用印加電圧 (AC / DC)	1 0 V

< 表 1 >

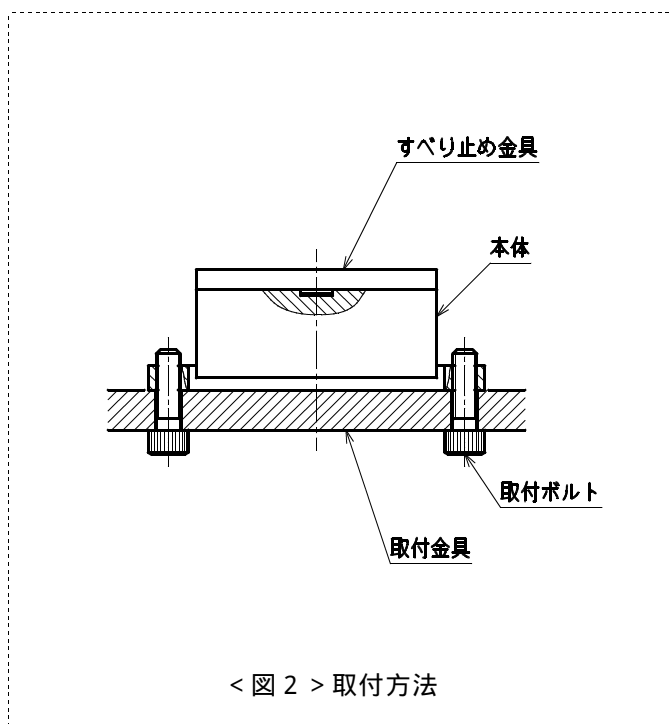


● 取付方法と取付上の注意

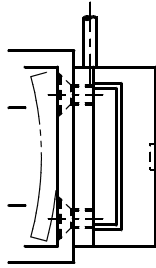
本器は自動車などのペダルの踏力を測定する荷重変換器です。

本器は実際の使用状態において、多少中心を外れたり、傾斜荷重が加わっても垂直荷重値に影響を与えない構造となっておりますが、本器の性能を発揮させるために次の点に留意して取り付けを行って下さい。

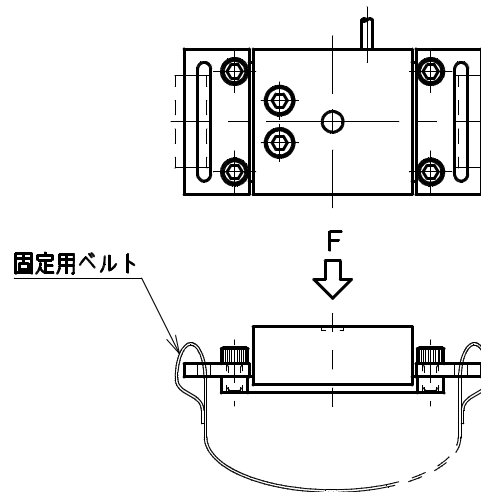
本器を設置する場合<図2>に示す様に4本のM6ネジ穴を使用し取付金具等に固定する。
 本体の負荷側を拘束しないように取付金具に固定する。
 本器の検出方向と負荷方向は必ず一致させる。
 本器に横から負荷を加えない。
 すべり止め金具等を負荷面に取付ける場合はインロー（寸法表参照）をセンタの位置決めに使用して下さい。
 ゴムパットを使用する場合はゴムパットを両面テープ、接着剤等にて貼り付けて下さい。



1. 治具取付手順など、詳しい説明が必要な方は弊社営業所まで御相談下さい。
2. 負荷面インローはご指定寸法にて製作可能となっておりますのでご相談下さい（オプション）。



< 図 3 > 固定用金具取付例



< 図 4 > 固定用ベルト取付例

- 使用環境と使用上の注意

1. 本器は防水構造ではありません。湿気や水のかかる場所で使用しないで下さい。

2. 温度補償範囲は

0 ~ 40 です。

- 保守について

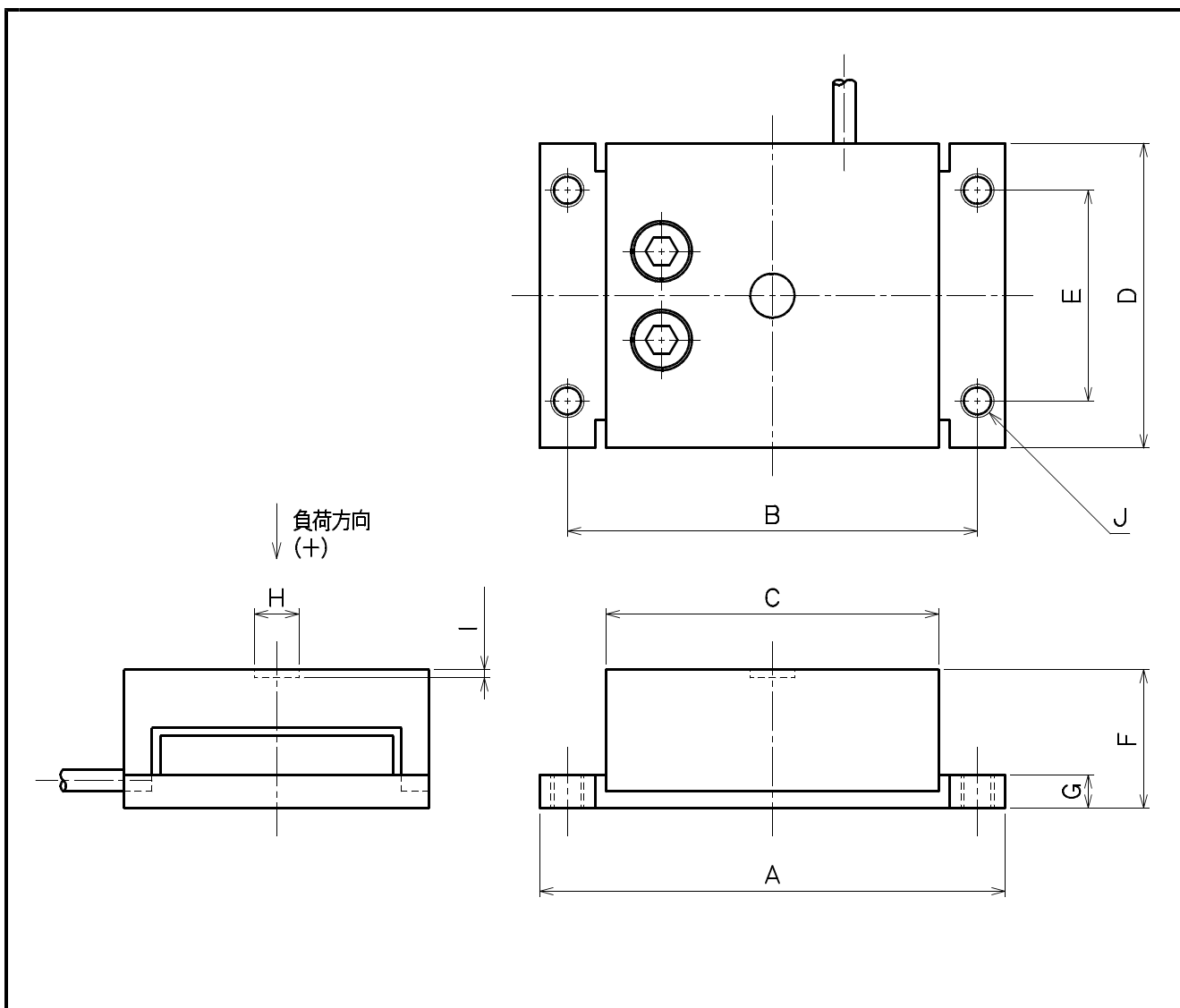
本器の品質を維持されるために、年に一回の定期点検・校正(共に有償)を御受けされる事を御奨めします。

- 保証について

本器は御買い上げ後、一年間の品質保証を行っています。正規の御使用(保証期間中)におきまして万一故障・欠陥等が発生しました場合は無償にて修理を致します。その場合には弊社営業所または御購入頂きました販売店まで御連絡を頂き、故障状況を御説明なさった上で現品を御送付して下さい。但し、お客様での誤使用・分解改造等の正規の御使用以外での場合は原則的に有償とさせていただきます。

また、許容範囲以上の負荷(荷重・モーメント)や電圧がかかり本来の機能が復元しない場合は修理不能の場合もございますので予め御承知おき下さい。

● 寸法図



● 寸法表 (単位 : mm)

形式名	定格容量	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
F R B - 1 K N	1 k N	84	74	60	55	38	25	6	φ 8H8	1.5	4-M6
F R B - 2 K N	2 k N	94	84	70	60	42	30	7	φ 8H8	1.5	4-M6

REV2006

仕様

TYPE	F R B 形荷重変換器
定格容量	1 k N , 2 k N
許容過負荷	1 5 0 % (定格容量に対し)
限界過負荷	2 0 0 % (定格容量に対し)
定格出力	1 . 5 m V / V
直線性	0 . 2 % R . O .
ヒステリシス	0 . 2 % R . O .
繰り返し性	0 . 1 % R . O .
許容印加電圧	1 5 V , 推奨 1 0 V
入力抵抗	4 0 0 Ω
出力抵抗	3 5 0 Ω
温度補償範囲	0 ~ 4 0
許容温度範囲	- 1 0 ~ 5 0
零点の温度特性	0 . 1 % R . O . /
出力の温度特性	0 . 0 5 % /
ケーブル	φ 4 m m , 4 芯シールドケーブル , 3 m
先端コネクタ	なし (先端ムキ出し)
その他	

株式会社 昭和測器

本 社 121-0812 東京都足立区西保木間1-17-16 TEL 03-3850-5431 FAX 03-3850-5436
 工 場 121-0064 東京都足立区保木間5-24-27 TEL 03-3858-3241 FAX 03-3859-1240
 大 阪出張所 550-0006 大阪市西区江之子島1-5-16 新三輪ビル TEL 06-6448-3412 FAX 06-6448-0875

